

# 第 47 期 報 告 書

平成20年度〔平成20年4月1日から  
平成21年3月31日まで〕

事 業 報 告 書  
貸 借 対 照 表  
正味財産増減計算書  
(事業費明細書)  
財 産 目 録

**財団法人 明治安田厚生事業団**

東京都新宿区西新宿1丁目8番3号

# 平成20年度業務概況

## I 全般的概況

平成20年度は、明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担い以下の活動を展開した。

研究関連業務では、「運動を活用した心身の健康増進」に関する各研究課題に取り組んだ。基礎研究では、身体運動がメンタルヘルスの改善および脳機能に及ぼす影響を検討するために精神疾患患者を対象としたトレーニング実験を実施した。

実践研究では、勤労者の職業性ストレス、運動実施状況、抑うつ、生活習慣病リスクの相互関連性を検討する調査、高齢者の睡眠改善を狙いとした運動プログラム開発と効果の検証、さらに、未成年者における心身の健康と運動との関係に関する研究を進めた。これらの研究活動により、年間を通しての学会発表、論文、報告書数は42題を数えた。

研究助成は、第25回健康医科学研究助成を実施し、189件の応募の中から15件に対して助成金を贈呈した。また、第24回論文集から優秀賞2件を選定した。

ウェルネス・サポート・コンサルタント業務では、当事業団が独自に開発した「運動健診」を通じたコンサルタント活動を展開するとともに、当健診センターの人間ドック受診者や、自治体および企業・団体職員を対象とし健康づくり指導に力を入れた。また、新規に「体のゆがみ」の測定・評価および改善体操の開発に着手し、多くの方の関心を得た。

総合健診業務では、昨年に引き続き「予約定員制」を実施し健診のスピードアップと職員のホスピタリティ（おもてなしの心）向上による気持ちのよいサービスの提供に努めた。また、昨年度導入した上部消化管X線装置のデジタル化(4台)に続き、胸部X線装置のデジタル化等、機械の最新化により健診精度の向上を一層高めた。

こうした健診サービスの質の向上により、受診者の反復受診率も4人に3人の割合での再受診者の獲得が図れ、その結果、受診者数、健診収入ともに過去最高の業績を収めることができた。

さらに、昨年8月には日本人間ドック学会の「人間ドック健診施設機能評価(第219号)」認定獲得ができた。

## Ⅱ 業務別事業概要

### 〔研究関連業務〕

平成20年度に実施した主要研究項目および活動は以下のとおりである。

#### 1. コアスタディー「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

ア. 運動がメンタルヘルス改善に及ぼす効果に関する研究

イ. 職業性ストレス、運動、生活習慣病リスクの相互関係に関する調査研究

ウ. 高齢者のうつ予防および睡眠改善を狙いとした運動介入効果に関する研究

エ. 親子で実施する運動遊びが子どもの心身の健康増進に及ぼす効果に関する研究

オ. 青年期におけるメンタルヘルスと運動との関係

#### 2. 研究室別研究

ア. 運動生理学研究室において実施した研究

- (1) 過重負荷によるヒラメ筋H反射応答に関する研究
- (2) 単シナプス反射に及ぼすベッドレストの影響に関する研究
- (3) 親子の運動習慣に関する研究

イ. 運動生化学研究室において実施した研究

- (1) 運動による唾液中ストレスマーカー変動に関する研究
- (2) 運動トレーニングと脳構造の関係に関する研究

ウ. 運動疫学研究室において実施した研究

- (1) 住民ボランティア活動が地域健康増進支援に及ぼす効果に関する研究
- (2) 運動トレーニングと自己効力感との関係に関する研究

#### 3. 外部機関との共同研究

ア. 科学研究費補助金研究

- ・高齢者における軽症うつ病に及ぼす体操教室の効果について検討した。
- ・高齢者の身体活動・外出・社会参加に影響する環境要因の分析に着手した。

#### 4. 学会・研究会活動

##### ア. 研究発表

- ・コアスタディー：17題
- ・研究室別研究：15題
- ・健診、フィットネス研究：2題

##### (1) 国内学会（合計28題）

- ・日本体力医学会：6題
- ・日本公衆衛生学会：6題
- ・日本体力医学会 関東地方会：3題
- ・日本健康教育学会：3題
- ・運動疫学研究会学術集会：2題
- ・日本産業衛生学会：2題
- ・産業保健研究会：2題
- ・日本理学療法学術大会：1題
- ・日本人間ドック学会：1題
- ・日本行動医学会：1題
- ・宮城体育学会：1題

##### (2) 国際学会（合計6題）

- ・The 10th International Congress of Behavioral Medicine：2題（Tokyo）
- ・55th American College of Sports Medicine：1題（U.S.A）
- ・The 2nd International Congress on Physical Activity and Public Health  
：1題（Netherlands）
- ・2008 Annual Meeting of The International Society For Behavioral Nutrition and  
Physical Activity：1題（Canada）
- ・The 15th International Congress of Dietetics：1題（Kanagawa）

##### イ. 論文・報告書などの出版

- ・コアスタディー：4題
- ・研究室別研究：4題

#### 5. その他の活動

- ア. 体力研究106号の刊行
- イ. 研究助成論文集「健康医科学」の刊行
- ウ. 体力医学研究所ホームページによる情報提供

## 〔研究助成〕

第25回健康医科学研究助成の公募を平成20年6月から10月にかけて実施した。大学および各種研究機関などから189件の応募があり、選考委員の個別審査、選考委員会での厳正な審査を経て次表の15件を選出した。

平成21年3月25日に明治安田生命本社にて後援団体、選考委員、受贈者の出席を得て助成金贈呈式を行なった。助成金額は一律100万円（総額1,500万円）である。

なお、これまでの助成対象研究は452件、4億5,150万円に達した。また、前年度研究助成の成果を第24回健康医科学研究助成論文集として発行した。さらに、第24回論文集の中から優秀賞1件を選定した。

## 第25回（平成20年度）健康医科学研究助成受贈者一覧

（五十音順・敬称略）

氏 名 (共同研究者数)	所 属	研 究 テ ー マ
井出 幸二郎 (4人)	九州大学 健康科学センター	地域在住高齢者の体力と精神健康度との関連性
上田 真也 (4人)	大阪市立大学大学院 医学研究科運動生体医学	短時間・高強度の運動が消化管ホルモンの動態と食欲・エネルギーバランスに及ぼす影響
浦野 友彦 (1人)	東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター	高齢に伴い脊椎変形を来たしやすいい高リスク者を予測する方法の開発
王 芸 (1人)	広島大学 教育学研究科	動作開始における筋相互間の協調性の研究 －高齢者の安全な歩行指導への貢献－
絹川 真太郎 (4人)	北海道大学 循環病態内科学	筋力増加に最も有効な血流制限下トレーニング運動条件の検索 －筋内エネルギー代謝の検討－
神崎 素樹 (1人)	京都大学大学院 人間・環境学研究科	指先触覚による求心性情報が高齢者の立位バランス能力向上に及ぼす影響
小島 奉子 (1人)	ワシントン大学 霊長類研究所	加齢に伴う運動学習変化の解析
中田 由夫	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	減量プログラムにおける資料提供と集団型減量支援の効果検証のためのランダム化比較試験
松尾 篤 (4人)	畿央大学 健康科学部理学療法学科	家庭用ゲーム機器を使用した運動介入が身体機能・脳活動に及ぼす影響
緑川 泰史 (2人)	早稲田大学 スポーツ科学学術院	発育期にある子どもの全身および部位別体脂肪率を捉える推定式の作成
宮腰 誠 (5人)	国立長寿医療センター 長寿医療工学研究部	認知症予防のための指運動訓練の定量的画像計測技術の研究
宮坂 陽子 (3人)	関西医科大学 第2内科学講座	肥満が血管内皮機能に及ぼす影響、およびその運動療法の効果に関する検討
宮下 政司 (1人)	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	中・高年低体力者における異なる運動強度による運動が新規脂質・炎症マーカーに及ぼす影響
安永 明智 (1人)	文化女子大学 現代文化学部	高齢者の認知機能と運動・身体活動の関係 －前向き研究による検討－
山田 実 (2人)	京都大学 医学部	転倒予防のためのMultiple-Task Trainingの開発 －無作為化比較対照試験－

（以上15件、一律100万円を助成。なお、所属は応募当時のものを記載）

## 〔ウェルネス・サポート・コンサルタント業務〕

<b>1. 健康・体力づくり実践指導活動</b>	<b>総開催数526回</b>
ア. 健康度測定・相談	
・「運動健診」	開催数 109回、参加人数 575人
イ. メタボリックシンドローム健診のフォローアップ	
・「健康づくり運動コース」	開催数34回、参加人数38人
ウ. 健康づくり支援	
・「健康支援室」	開催数 170回、参加人数 858人
・「活動量チェック」	開催数 33回、参加人数 45人
・「健康づくり相談」	開催数 33回、参加人数 39人
エ. 特定保健指導	開催数 14回、参加人数 14人
オ. 運動実践プログラム	
・「MYヘルスプログラム」	開催数 85回、参加人数1,009人
・「ヘルスアップMYレージ」	登録者 46人、
ウォーキングイベント	開催数 2回、参加人数 20人
カ. 健康づくりイベント	開催数 37回、参加人数 308人
キ. その他	開催数 9回

<b>2. 健康づくりコンサルタント活動</b>	<b>総開催数36回</b>
ア. 行政への保健事業の支援	
	開催数 10回
イ. 企業、団体、機関などへの健康づくりに関する支援	
	開催数 19回
ウ. 明治安田生命の支社活動への健康づくりに関する支援	
	開催数 7回
エ. 健康情報の提供による啓蒙活動	
・「ウェルネスレター」	19号 合計17,000部

## 〔総合健診業務〕

平成20年度における健診概況等は次のとおりである。

### 1. 男女別・年齢階層別受診者数

	男		女		計	
	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)
60歳以上	1,951	23.5	1,324	19.1	3,275	21.5
50～59歳	2,221	26.7	1,922	27.7	4,143	27.2
40～49歳	2,540	30.6	2,139	30.8	4,679	30.7
35～39歳	1,206	14.5	1,123	16.2	2,329	15.3
30～34歳	349	4.2	388	5.6	737	4.8
29歳以下	40	0.5	40	0.6	80	0.5
合計	8,307	100.0	6,936	100.0	15,243	100.0

- (1) 総受診者数15,243人で前年より410人増加
- (2) 男女別の占率は、男性54.5%、女性45.5%で、男女とも前年とほぼ同率であった。
- (3) 生活習慣病対象年齢である35歳以上の占率は、94.7%で、前年比1.3%増であった。

### 2. その他受診者に関する事項

- (1) 一般と団体との占率  
一般が887人(5.8%)、団体が14,356人(94.2%)で、前年に引き続き団体中心の受診者構成
- (2) 反復受診率  
反復受診率は75.8%で、前年より1.4%増加
- (3) 二次検査受診者数  
二次検査は、胃部内視鏡検査97人、胸部X線検査68人等で、合計386人
- (4) 婦人科検査受診率  
婦人科検査受診者数は5,215人で受診率は75.1%(対前年65人増加)
- (5) 乳房検査受診率  
乳房専門医による視触診と画像診断(エコー、マンモグラフィ)により実施。受診者数は5,818人で受診率は83.9%(対前年205人増加)

### 3. 検査結果状況

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次表のとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定された占率が最も高率に認められた疾患は男性では眼科(9.3%)、女性では食道・胃疾患(9.3%)であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、高コレステロール血症、高中性脂肪血症、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差はあるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とした生活習慣の影響が示唆された。



検査対象疾患別判定占率一覧表

単位：％

疾患名	検査方法	性別	判定区分				癌など発見数
			C	D1	D2	E	
肥満(過体重)	身体測定	男女	65.7	0.0	0.0	0.0	
			52.8	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部X線	男女	26.6	0.0	2.4	0.5	肺癌 6
			28.8	0.0	2.8	0.3	
高血圧	血圧測定	男女	15.0	0.7	0.0	6.6	
			7.4	0.2	0.0	2.5	
高コレステロール	血液生化学	男女	14.0	1.7	0.0	1.0	
			15.9	1.6	0.0	1.1	
高中性脂肪	血液生化学	男女	20.5	2.3	0.0	2.8	
			4.5	0.5	0.0	0.7	
高尿酸	血液生化学	男女	20.0	3.6	0.0	1.9	
			1.1	0.2	0.0	0.0	
心電図異常	心電図	男女	21.6	0.1	4.0	0.8	
			10.6	0.0	1.9	0.1	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男女	25.4	0.0	3.7	0.3	腎臓癌 4
			36.2	0.0	5.2	0.1	
食道・胃疾患	胃部X線 胃内視鏡	男女	8.6	0.2	8.5	0.1	胃癌 7 食道癌 2
			10.8	0.0	9.3	0.0	
十二指腸疾患	胃部X線	男女	3.5	0.1	0.6	0.0	
			1.1	0.0	0.3	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男女	20.2	0.0	0.4	0.0	
			12.3	0.0	0.3	0.0	
肝機能障害(脂肪肝含)	血液生化学	男女	52.4	0.1	1.1	0.6	
			21.3	0.0	0.7	0.3	
糖尿病(耐糖能障害)	血液生化学	男女	16.8	3.9	1.9	4.1	
			12.0	0.8	1.1	1.1	
眼科	眼底・眼圧	男女	18.2	0.1	9.3	3.4	
			11.7	0.1	6.4	0.4	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男女	0.0	0.0	7.3	0.0	大腸癌 11
			0.6	0.0	3.9	0.0	
前立腺疾患	PSA検査	男女	0.0	0.0	1.6	0.0	前立腺癌 7
			—	—	—	—	
婦人科	婦人科	男女	—	—	—	—	子宮癌 1
			11.4	1.5	3.0	0.6	
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男女	—	—	—	—	乳癌 5
			2.4	0.0	0.5	0.0	
その他の疾患		男女	9.6	0.0	0.8	0.2	その他の癌 6
			8.8	0.0	1.6	0.7	

(注) 1. 疾患別判定占率(%)は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査(受診率95.2%)、PSA検査(受診率45.8%)、婦人科検査(受診率75.1%)、および乳房検査(受診率83.9%)はそれぞれの受診者数に対する割合

2. 判定区分 (平成16年度より日本人間ドック学会に準拠)

C:生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D1:治療が必要 D2:精密検査が必要

E:継続治療

3. その他の癌は甲状腺癌、胆管癌など

### Ⅲ 評議員会に関する事項

1. 平成20年6月9日（月曜日）午後5時00分、東京都港区北青山3-6-8、青山ダイヤモンドホールにおいて、平成20年度評議員会を開催。

#### 会 議 の 目 的 事 項

- 第1号議案 理事選任決定の件
- 第2号報告 評議員委嘱の件
- 第3号報告 平成19年度事業報告および決算の件
- 第4号報告 平成20年度事業計画および予算の件
- 第5号報告 「運動とメンタルヘルス」研究計画概要報告の件
- 第6号報告 研究員報告の件

#### 総評議員数および出席議員数

- (1) 総評議員数 11人
- (2) 出席評議員数 11人（うち委任状によるもの1人）

#### 議 事

1. 寄付行為第31条の規定に従って、評議員互選により柴田評議員を議長に選任し、寄付行為第32条の規定に従い、評議員仲村英一氏および評議員浅見高明氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第1号議案「理事選任決定の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なくこれを承認可決した。
  - ・任期満了者と再任  
黒田善雄氏、佐藤安弘氏、蔵本博行氏、宮坂信之氏、加賀谷淳子氏、馬詰良樹氏、山田百郎氏、貴島政邑氏、西山千秋氏
3. 議長は、第2号報告「評議員委嘱の件」を上議し、平成20年度の評議員の名簿を配付して理事会で議決される評議員のその異動の内容を報告した。
4. 議長は、第3号報告「平成19年度事業報告および決算の件」を上議し、当事業団の業績は、順調に伸展して所期の成果をあげた旨報告し、併せて、各部門別に主要業績を列挙して報告した。

また、決算についても、議長は、正味財産増減計算書等決算関係諸表を配付し主要事項につき報告を行った。
5. 議長は、第4号報告「平成20年度事業計画および予算報告の件」を上議し、平成20年度の事業計画および予算の概要について報告した。
6. 議長は、第5号報告「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件につき、担当の永松体力医学研究所所長を指名し説明を求めた。
7. 最後に議長は、第6号報告「女性勤労者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件につき、甲斐体力医学研究所研究員を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣した。

## IV 理事会に関する事項

1. 平成20年6月9日（月曜日）午後5時30分、東京都港区北青山3-6-8、青山ダイヤモンドホールにおいて、平成20年度理事会を開催。

### 会 議 の 目 的 事 項

#### 議案

- 第1号議案 評議員委嘱決定の件
- 第2号議案 平成19年度事業報告および決算承認の件
- 第3号議案 平成20年度事業計画および予算決定の件
- 第4号報告 理事選任の件
- 第5号報告 「運動とメンタルヘルス研究計画概要」報告の件
- 第6号報告 「女性勤労者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件

### 総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 12人
- (2) 出席理事数 12人（うち委任状によるもの1人）

### 議 事

1. 開会に先立ち、事務局より、現在の総理事数12人のうち、本日の出席理事数は12人であり、寄付行為第22条並びに第24条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨、議場に報告した。
2. 理事長葉狩浩一氏は、寄付行為第21条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、寄付行為第26条の規定に従って、常務理事山田百郎氏および理事西山千秋氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。
3. 議長は、第1号議案「評議員委託決定の件」を上議し、以下の審議をもとめたところ全員異議なくこれを承認可決した。
  - ・任期満了者と再任  
仲村英一氏、浅見高明氏、柴田博氏、菅原弘子氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏、江橋博氏、内田賢氏、三好裕司氏
4. 議長は、第2号議案「平成19年度事業報告および決算承認の件」を上議し、まず平成19年度事業報告につき、各部門別に主要業績を列挙して報告するとともに、事業団全体を通じ、順調に進展して所期の成果をあげることが出来た旨の説明を行った。質疑応答を行い原案どおり承認された。
  - 次に、平成19年度決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書および財産目録等の各案を各理事に配付し、主要事項につき説明を行った。
  - 引きつづき監事内海郁夫氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨、新海一郎、椎名 忠、両前監事より報告を受けたことを述べた。
  - 議長は各理事に審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

5. 議長は、第3号議案「平成20年度事業計画および予算決定の件」を上議し、平成20年度の事業計画の概要について報告を行った。質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

次に、平成20年度予算に関し、議長は、新年度開始以前に理事会を開催することができなかったため、本年度4月以降経常収支のみの暫定予算を実施し、前年度予算に準じて収入・支出した旨を述べて了承を求め、次いで予算案を配付して、収入、支出の部および収支差額等主要事項を中心に説明を行った。

6. 議長は、第4号報告「理事選任報告の件」を上議し、評議員会で議決された異動の内容を次のとおり説明した。

・任期満了者と再任

黒田善雄氏、佐藤安弘氏、蔵本博行氏、宮坂信之氏、加賀谷淳子氏、馬詰良樹氏、山田百郎氏、貴島政邑氏、西山千秋氏

7. 議長は、第5号報告「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件につき、担当の永松体力医学研究所所長を指名し説明を求めた。

8. 最後に議長は、第6号報告「女性勤労者の心身の健康づくりのための運動プログラムの開発」報告の件につき、甲斐体力医学研究所研究員を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣した。

## V 出版に関する事項

### 平成20年度刊行物一覧

刊行物名	号数(タイトル)	刊行月	部数
体力研究	No.106	平成20年4月	1,000部
WELLNESS LETTER	No.19 (特集:新型インフルエンザに備える)	平成20年9月	17,000部
健康医科学	第24回健康医科学 研究助成論文集	平成21年3月	1,300部

## VI 寄付に関する事項

平成20年度は、明治安田生命保険相互会社から下記のように寄付をいただいた。

(受領年月日順に掲載)

受領年月日	寄付者	金額
平成20年5月30日	明治安田生命保険相互会社	(円) 100,000,000
平成20年9月29日	明治安田生命保険相互会社	100,000,000
平成21年1月21日	明治安田生命保険相互会社	80,000,000

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書  
(事業費明細書)

III 財産目録

# I 貸借対照表総括表

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	103,228,783	90,192,982	13,035,801
前払金	11,310,261	4,026,327	7,283,934
未収金	84,124,527	0	84,124,527
貯蔵品	6,006,658	0	6,006,658
流動資産合計	204,670,229	94,219,309	110,450,920
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245	51,985,245	23,000,000
機器購入積立預金	107,815,417	46,975,029	60,840,388
特定資産合計	182,800,662	98,960,274	83,840,388
その他の固定資産			
建物附属設備	16,898,724	9,680,373	7,218,351
器具備品	144,587,336	17,362,226	127,225,110
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	0	137,853,482	△ 137,853,482
その他の資産合計	162,349,760	165,759,781	△ 3,410,021
無形固定資産			
ソフトウェア	7,618,753	2,087,268	5,531,485
無形固定資産合計	7,618,753	2,087,268	5,531,485
固定資産合計	602,769,175	516,807,323	85,961,852
<b>資産合計</b>	<b>807,439,404</b>	<b>611,026,632</b>	<b>196,412,772</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,147,876	5,147,876	0
未払金	21,965,772	1,105,893	20,859,879
未払法人税等	6,544,900	50,000	6,494,900
流動負債合計	33,658,548	6,303,769	27,354,779
2. 固定負債			
退職給付引当金	50,996,423	26,174,659	24,821,764
固定負債合計	50,996,423	26,174,659	24,821,764
<b>負債合計</b>	<b>84,654,971</b>	<b>32,478,428</b>	<b>52,176,543</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産 (うち基本財産への充当額)	722,784,433 (250,000,000)	578,548,204 (250,000,000)	144,236,229 (0)
<b>正味財産合計</b>	<b>722,784,433</b>	<b>578,548,204</b>	<b>144,236,229</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>807,439,404</b>	<b>611,026,632</b>	<b>196,412,772</b>

## 貸借対照表（一般事業）

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	90,192,982	155,156,870	△ 64,963,888
前払金	4,026,327	4,026,327	0
未収金	0	264,920	△ 264,920
流動資産合計	94,219,309	159,448,117	△ 65,228,808
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	51,985,245	51,985,245	0
機器購入積立預金	46,975,029	46,975,029	0
特定資産合計	98,960,274	98,960,274	0
その他の固定資産			
建物附属設備	9,680,373	6,735,199	2,945,174
器具備品	17,362,226	19,772,744	△ 2,410,518
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	137,853,482	63,000,000	74,853,482
その他の資産合計	165,759,781	90,371,643	75,388,138
無形固定資産			
ソフトウェア	2,087,268	16,411,216	△ 14,323,948
無形固定資産合計	2,087,268	16,411,216	△ 14,323,948
固定資産合計	516,807,323	455,743,133	61,064,190
<b>資産合計</b>	<b>611,026,632</b>	<b>615,191,250</b>	<b>△ 4,164,618</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,147,876	4,472,444	675,432
未払金	1,105,893	1,814,024	△ 708,131
未払法人税等	50,000	50,000	0
流動負債合計	6,303,769	6,336,468	△ 32,699
2. 固定負債			
退職給付引当金	26,174,659	25,392,941	781,718
固定負債合計	26,174,659	25,392,941	781,718
<b>負債合計</b>	<b>32,478,428</b>	<b>31,729,409</b>	<b>749,019</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	578,548,204	583,461,841	△ 4,913,637
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>578,548,204</b>	<b>583,461,841</b>	<b>△ 4,913,637</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>611,026,632</b>	<b>615,191,250</b>	<b>△ 4,164,618</b>



## 貸借対照表(特別事業)

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	13,035,801	1,942,620	11,093,181
前払金	7,283,934	7,283,934	0
未収金	84,124,527	47,470,514	36,654,013
貯蔵品	6,006,658	6,712,174	△ 705,516
流動資産合計	110,450,920	63,409,242	47,041,678
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	23,000,000	23,000,000	0
機器購入積立預金	60,840,388	30,840,388	30,000,000
特定資産合計	83,840,388	53,840,388	30,000,000
その他の固定資産			
建物附属設備	7,218,351	2,216,053	5,002,298
器具備品	127,225,110	142,593,183	△ 15,368,073
元入金	△ 137,853,482	△ 63,000,000	△ 74,853,482
その他の資産合計	△ 3,410,021	81,809,236	△ 85,219,257
無形固定資産			
ソフトウェア	5,531,485	385,884	5,145,601
無形固定資産合計	5,531,485	385,884	5,145,601
固定資産合計	85,961,852	136,035,508	△ 50,073,656
<b>資産合計</b>	<b>196,412,772</b>	<b>199,444,750</b>	<b>△ 3,031,978</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	0	13,419	△ 13,419
未払金	20,859,879	29,402,231	△ 8,542,352
未払法人税等	6,494,900	15,871,700	△ 9,376,800
流動負債合計	27,354,779	45,287,350	△ 17,932,571
2. 固定負債			
退職給付引当金	24,821,764	27,798,736	△ 2,976,972
固定負債合計	24,821,764	27,798,736	△ 2,976,972
<b>負債合計</b>	<b>52,176,543</b>	<b>73,086,086</b>	<b>△ 20,909,543</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	144,236,229	126,358,664	17,877,565
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>正味財産合計</b>	<b>144,236,229</b>	<b>126,358,664</b>	<b>17,877,565</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>196,412,772</b>	<b>199,444,750</b>	<b>△ 3,031,978</b>

## Ⅱ 正味財産増減計算書総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	827,679	827,679	0
運用財産運用収入	441,680	301,802	139,878
寄付金収入	280,000,000	280,000,000	0
ウエルネス事業収入	2,525,003	2,525,003	0
健診事業収入	662,744,286	0	662,744,286
雑収入	498,604	498,604	0
経常収益計	947,037,252	284,153,088	662,884,164
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	109,577,200	109,577,200	0
研究助成事業費	32,436,418	32,436,418	0
ウエルネス事業費	51,436,628	51,436,628	0
管理費	93,508,117	93,508,117	0
健診事業費	637,849,247	0	637,849,247
経常費用計	924,807,610	286,958,363	637,849,247
当期経常増減額	22,229,642	△ 2,805,275	25,034,917
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,720,814	2,058,362	662,452
経常外費用計	2,720,814	2,058,362	662,452
当期経常外増減額	△ 2,720,814	△ 2,058,362	△ 662,452
税引前当期一般正味財産増減額	19,508,828	△ 4,863,637	24,372,465
法人税、住民税及び事業税	6,544,900	50,000	6,494,900
当期一般正味財産増減	12,963,928	△ 4,913,637	17,877,565
一般正味財産期首残高	709,820,505	583,461,841	126,358,664
一般正味財産期末残高	722,784,433	578,548,204	144,236,229
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>722,784,433</b>	<b>578,548,204</b>	<b>144,236,229</b>

## 正味財産増減計算書(一般事業)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	827,679	825,215	2,464
運用財産運用収入	301,802	442,858	△ 141,056
寄付金収入	280,000,000	286,000,000	△ 6,000,000
ウェルネス事業収入	2,525,003	2,863,815	△ 338,812
雑収入	498,604	456,422	42,182
経常収益計	284,153,088	290,588,310	△ 6,435,222
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	109,577,200	105,953,275	3,623,925
研究助成事業費	32,436,418	32,282,323	154,095
ウェルネス事業費	51,436,628	49,957,503	1,479,125
事業費計	193,450,246	188,193,101	5,257,145
管理費			
管理費	93,508,117	100,307,145	△ 6,799,028
管理費計	93,508,117	100,307,145	△ 6,799,028
経常費用計	286,958,363	288,500,246	△ 1,541,883
当期経常増減額	△ 2,805,275	2,088,064	△ 4,893,339
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,058,362	184,476	1,873,886
経常外費用計	2,058,362	184,476	1,873,886
当期経常外増減額	△ 2,058,362	△ 184,476	△ 1,873,886
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,863,637	1,903,588	△ 6,767,225
法人税、住民税及び事業税	50,000	50,000	0
当期一般正味財産増減	△ 4,913,637	1,853,588	△ 6,767,225
一般正味財産期首残高	583,461,841	581,608,253	1,853,588
一般正味財産期末残高	578,548,204	583,461,841	△ 4,913,637
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>578,548,204</b>	<b>583,461,841</b>	<b>△ 4,913,637</b>

## 事業費及び管理費明細書(一般事業)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 体力研究事業費</b>	<b>109,577,200</b>	<b>Ⅲ ウェルネス事業費</b>	<b>51,436,628</b>
1. 人 件 費	64,413,770	1. 人 件 費	29,371,954
役 職 員 給 料	54,936,535	役 職 員 給 料	25,298,892
法 定 福 利 費	7,379,615	法 定 福 利 費	3,344,634
法 定 外 福 利 費	2,097,620	法 定 外 福 利 費	728,428
2. 研 究 費	45,163,430	2. 事 業 費	22,064,674
旅 費 交 通 費	2,047,007	ウエルネスレター	1,217,000
通 信 費	1,617,722	賃 借 料	8,478,048
備 品 消 耗 品 費	1,482,189	不 動 産 管 理 費	5,015,760
材 料 費	23,016	通 信 印 刷 費	459,993
医 薬 品 費	154,650	備 品 消 耗 品 費	652,256
図 書 購 入 費	2,588,153	フ イ ッ ト ネ ス 費	1,243,544
印 刷 費	1,874,422	減 価 償 却 費	2,210,254
機 器 保 守 契 約 費	1,422,381	そ の 他 費 用	2,787,819
光 熱 水 費	2,260,994	<b>事 業 費 合 計</b>	<b>193,450,246</b>
賃 借 料	17,135,640	<b>Ⅳ 管 理 費</b>	<b>93,508,117</b>
不 動 産 管 理 費	4,956,064	1. 人 件 費	37,465,269
研 究 調 査 費	691,802	役 職 員 給 料	27,163,659
研 究 諸 費	2,449,179	法 定 福 利 費	4,184,281
リ ー ス 料	4,575,800	法 定 外 福 利 費	1,630,584
減 価 償 却 費	628,438	派 遣 経 費	3,705,027
そ の 他 費 用	1,255,973	退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	781,718
<b>Ⅱ 研究助成事業費</b>	<b>32,436,418</b>	2. 事 務 費	56,042,848
1. 助 成 金	15,000,000	会 議 費	1,734,149
研 究 助 成 金	15,000,000	賃 借 料	9,617,624
2. 事 務 費	5,436,418	不 動 産 管 理 費	5,851,716
論 文 集 刊 行 費	1,966,775	リ ー ス 料	1,917,820
事 務 費	3,369,643	光 熱 水 費	373,334
学 会 等 賛 助 金	100,000	通 信 印 刷 費	1,367,197
3. 寄 付 金	12,000,000	調 査 ・ 諸 謝 金	2,285,504
指 定 寄 付 金	12,000,000	備 品 消 耗 品 費	1,076,960
		シ ス テ ム 関 係 費	7,104,551
		減 価 償 却 費	16,812,778
		租 税 公 課	5,553,150
		そ の 他 費 用	2,348,065
		<b>事 業 費 及 び 管 理 費 合 計</b>	<b>286,958,363</b>

## 正味財産増減計算書(特別事業)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産運用収入	139,878	136,947	2,931
健診事業収入	662,744,286	643,165,479	19,578,807
雑収入	0	39,714	△ 39,714
経常収益計	662,884,164	643,342,140	19,542,024
(2) 経常費用			
事業費			
健診事業費	637,849,247	600,643,728	37,205,519
事業費計	637,849,247	600,643,728	37,205,519
経常費用計	637,849,247	600,643,728	37,205,519
当期経常増減額	25,034,917	42,698,412	△ 17,663,495
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	662,452	833,007	△ 170,555
経常外費用計	662,452	833,007	△ 170,555
当期経常外増減額	△ 662,452	△ 833,007	170,555
税引前当期一般正味財産増減額	24,372,465	41,865,405	△ 17,492,940
法人税、住民税及び事業税	6,494,900	15,871,700	△ 9,376,800
当期一般正味財産増減	17,877,565	25,993,705	△ 8,116,140
一般正味財産期首残高	126,358,664	100,364,959	25,993,705
一般正味財産期末残高	144,236,229	126,358,664	17,877,565
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>144,236,229</b>	<b>126,358,664</b>	<b>17,877,565</b>

## 事業費明細書(特別事業)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
<b>健 診 事 業 費</b>	<b>637,849,247</b>
1. 人 件 費	345,052,933
役 職 員 給 料	299,441,283
法 定 福 利 費	24,652,676
法 定 外 福 利 費	7,705,850
派 遣 経 費	8,868,883
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	4,384,241
2. 健 診 費	292,796,314
医 薬 品 費	47,038,891
材 料 費	12,815,091
備 品 消 耗 品 費	9,806,089
修 繕 費	11,449,873
機 器 保 守 契 約 費	14,292,061
印 刷 費	7,956,640
通 信 費	15,315,691
業 務 開 拓 費	12,677,550
研 究 助 成 費	5,310,246
リ ー ス 料	10,421,208
賃 借 料	53,453,218
不 動 産 管 理 費	30,930,457
光 熱 水 費	6,436,258
嘱 託 医 関 係 費	699,394
シ ス テ ム 関 係 費	14,717,620
減 価 償 却 費	30,288,789
租 税 公 課	2,884,978
そ の 他 費 用	6,302,260
<b>特 別 事 業 費 合 計</b>	<b>637,849,247</b>

## 計 算 書 類 に 関 す る 注 記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されております。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は平成19年4月1日より定率法から定額法に変更しております。

(2) 退職給付引当金の計上基準

自己都合による期末要支給額に基づいて計上しております。

(3) 消費税等会計処理について

税抜き処理によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	70,000,000	0	0	70,000,000
定期預金	180,000,000	0	0	180,000,000
小 計	250,000,000	0	0	250,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	74,985,245	0	0	74,985,245
機器購入積立預金	77,815,417	30,000,000	0	107,815,417
小 計	152,800,662	30,000,000	0	182,800,662
合 計	402,800,662	30,000,000	0	432,800,662

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	26,701,784	9,803,060	16,898,724
器具備品	318,530,420	173,943,084	144,587,336
小 計	345,232,204	183,746,144	161,486,060
ソフトウェア	23,279,435	-	7,618,753
合 計	368,511,639	183,746,144	169,104,813

5. リース料

	1年以内	1年超	合 計
	円	円	円
未経過リース料期末残高相当額	10,886,196	29,055,722	39,941,918

### Ⅲ 財 産 目 録

平成21年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
<b>I 資 産 の 部</b>		
1. 流 動 資 産		
現金預金	935,637	
現 金		
普 通 預 金	102,293,146	
未 収 金		
健 診 料	84,124,527	
前 払 金	11,310,261	
貯 蔵 品		
材 料	1,122,248	
医 薬 品	4,884,410	
流動資産合計		204,670,229
2. 固 定 資 産		
(1) 基 本 財 産		
普通預金	70,000,000	
定期預金	180,000,000	
基本財産合計	250,000,000	
(2) その他の固定資産		
建物附属設備	16,898,724	
器具備品	144,587,336	
電話加入権	863,700	
退職給付引当預金	74,985,245	
機器購入積立預金	107,815,417	
その他の固定資産合計	345,150,422	
(3) 無形固定資産		
ソフトウェア	7,618,753	
無形固定資産合計	7,618,753	
固定資産合計		602,769,175
<b>資 産 合 計</b>		<b>807,439,404</b>
<b>Ⅱ 負 債 の 部</b>		
1. 流 動 負 債		
未払金(健診事業費等)	21,965,772	
未払法人税等	6,544,900	
預り金(所得税住民税等)	5,147,876	
流動負債合計		33,658,548
2. 固 定 負 債		
退職給付引当金	50,996,423	
固定負債合計		50,996,423
<b>負 債 合 計</b>		<b>84,654,971</b>
<b>正 味 財 産</b>		<b>722,784,433</b>



以上のとおり相違ありません。

平成21年 6月12日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長	葉狩浩一	理事	蔵本博行
常務理事	山田百郎	理事	宮坂信之
理事	黒田善雄	理事	加賀谷淳子
理事	香川芳子	理事	馬詰良樹
理事	芝山秀太郎	理事	貴島政邑
理事	佐藤安弘	理事	西山千秋

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成21年 6月12日

監事	内海郁夫
監事	西嶋素行


# 独立監査人の監査報告書

平成21年 4月24日


財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 葉 狩 浩 一 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士 川上 泰 江 

白子公認会計士事務所

公認会計士 白子 和 幸 

私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日までの第47期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 記

### I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 特別事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

### II 収支計算書

1. 一般事業会計の収支計算書
2. 特別事業会計の収支計算書
3. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第47期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年 3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第47期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 役員名簿

(平成21年6月12日現在)

理事長	葉狩浩一	
常務理事	山田百郎	
理事	黒田善雄	東京大学名誉教授
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学教授
理事	貴島政邑	明治安田厚生事業団新宿健診センター所長
理事	西山千秋	
監事	内海郁夫	明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監事	西嶋素行	明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

# 評 議 員 名 簿

(平成21年6月12日現在)

仲 村 英 一	結核予防会理事長
浅 見 高 明	筑波大学名誉教授
柴 田 博	桜美林大学教授
菅 原 弘 子	地域ケア政策ネットワーク事務局長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター、センター長
江 橋 博	東亜大学大学院教授
内 田 賢	東京慈恵会医科大学教授
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長

## 平成22年度役員名簿

理事長

理事 栗原 敏 学校法人慈恵大学理事長

理事 香川 芳子 女子栄養大学学長

理事 芝山 秀太郎 鹿屋体育大学名誉教授

理事 佐藤 安弘 キリンホールディングス株式会社名誉相談役

理事 蔵本 博行 北里大学名誉教授

理事 宮坂 信之 東京医科歯科大学教授

理事 加賀谷 淳子 日本女子体育大学名誉教授

理事 馬 詰 良 樹 東京慈恵会医科大学教授

理事 貴島 政 邑 明治安田厚生事業団新宿健診センター所長

理事 高井 邦 美

理事 福島 幸 彦

監事 富林 和 雄 明治安田生命保険相互会社関連事業部長

監事 永田 誠 明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

## 平成21年度評議員名簿

仲村英一	結核予防会理事長
浅見高明	筑波大学名誉教授
柴田博	桜美林大学教授
菅原弘子	地域ケア政策ネットワーク事務局長
波多健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大島雄次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下門顯太郎	東京医科歯科大学教授
上坊敏子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター、センター長
江橋博	東亜大学大学院教授
内田賢	東京慈恵会医科大学教授
三好裕司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長